



たかしま未来っ子発見市 ~新旭のまち~ 12/8

市内の小学1～6年生までの62人が、「自分たちが住む地域をよく知ろう!」と、新旭地域を見学しました。工場や酒蔵見学、綿の種とり体験のほか、自分の好きな味のこんにゃく作りを体験しました。様々な人とのふれあいや体験を通じて、地域のよさを発見することができました。(青少年課)



マレーシア行政官 特産品開発事例研修 12/20

マレーシア政府機関に所属する初任行政官19人が、地域の特色を活かした民間と行政との協働での取り組みを学ぶため、高島市を視察されました。(商工観光課)

平和のために私たちが出来ること ~地雷をなくそう! 世界子どもキャンペーン~



地雷をなくそう! 世界子どもキャンペーンのメンバーが、地雷廃絶への学習と活動を行うため、ウインターミーティングを開きました。講師としてアフガニスタンに義足を届けておられる滝谷昇さんを迎え、アフガニスタンの現状や自分たちに出来ることは何かお話いただきました。世界の平和のために、特別な活動が必要なのではなく、「当たり前のことをする事」「間違ったことに間違っていると意見を示す」ことが肝心であると教えていただきました。(青少年課)

高島から世界へ ~青年海外協力隊派遣~ 12/20



清水美里さん(安曇川町中野)が、青年海外協力隊として本年1月から2年間、ホンジュラスへ派遣されることになり、市役所を表敬訪問されました。

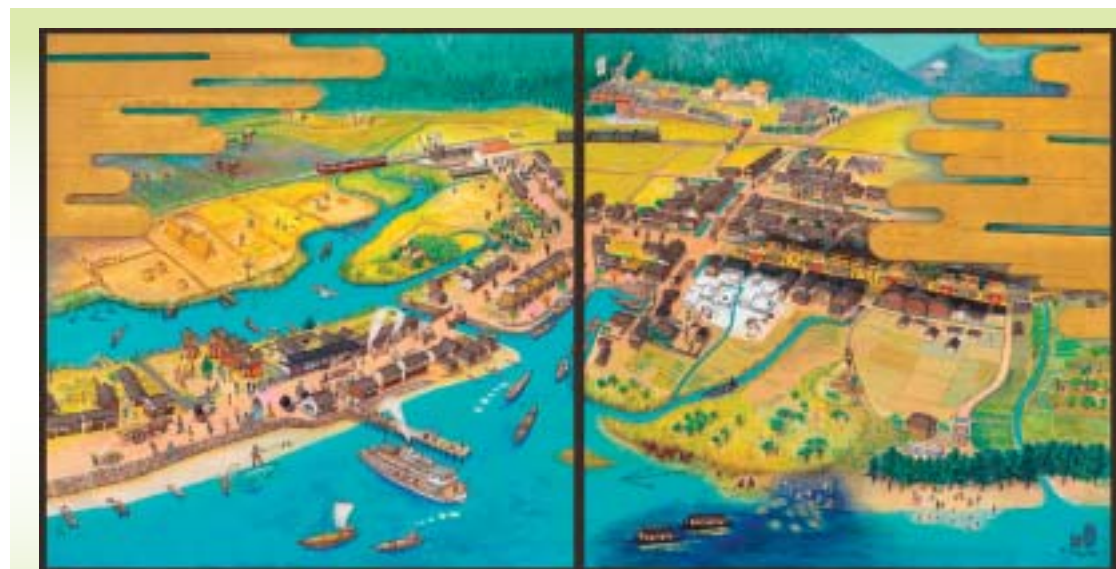
指導者が少ないホンジュラスで、「子どもたちを中心とした吹奏楽団を作りたい」「音楽を国と国を結ぶ架け橋にしたい」と抱負を述べられました。現地でのご活躍をお祈りします。(政策調整課)

写真館 まちなタ

あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。二コースは皆さんから大募集!! あなたのとびっきりを紹介してください。

あったか 手作り「クリスマスコンサート」 12/21

高島病院の外来待合ホールで、毎冬恒例の「クリスマスコンサート」が開かれました。看護部を中心にボランティアの協力を得て、入院療養中の患者さんや外来診療等で当日ご来院の方々に対し、ささやかな癒しのひとときをプレゼント。飛び入りで参加したサンタクロースやトナカイと一緒に、なごやかな楽しい時間を過ごすことができました。(公立高島総合病院)



▲語り・湊区民有志 画・山本功次氏・松原圭子氏 滋賀県所蔵 サイズ・180cm×90cm

(注) 地域に暮らす人々が、日々の生活体験の積み重ねを通じて育んでこられたふるさとの思い出やイメージを集約して、絵画によって表現したものを目的としたものではなく、人の印象に合わせて変形・誇張されている部分があります。

また、かつては裏海などと呼ばれていた乙女ヶ池(左面中段の内湖)でもタツベ漁や投網、釣りの様子が描かれ、モロコヤコイ、フナ等多くの魚が獲れたそうです。右面下部の萩の浜に目を移すと、多いときには100台以上の大型バスで賑わった水泳場に子どもたちの大きな歓声が聞こえるようです。家並みを縫って巡行する大溝祭や、湖上を照らす琵琶湖祭の屋形船、灯籠流しの灯りなど、城下町、港町として栄えた地域の様子が画面狭しと描かれています。これまで披露の機会が少なかったこの絵屏風を、子どもたちや多くの方々に鑑賞していただき、活用されることが期待されます。

今回紹介する高島市勝野湊の「ふるさと絵屏風(注)」は、滋賀県高島県事務所の「ふるさと湖西再発見調査研究事業」により製作されました。琵琶湖海運の拠点として交通の要衝であった湊には、多くの人や物が行き来して栄えました。絵図中央の大溝港に木材や薪炭、米穀を積んだたくさんの船が入りし、牛が荷車で牽いてきた荷物を京阪神等に運搬していく様子が見られます。中央下部の琵琶湖に突き出す棧橋には大型客船の「みどり丸」が浮かんでいます。大阪から海軍の湖上訓練で、多くの学生たちを萩の浜に送ってきたことが思い返されます。ほかに船を使っても多くの人がここを出入りし、客待ちの人力車がずっと並んだということです。こうして海運業で栄えた湊には、製材、旅館、運送、米穀、石材、料理屋、造船など多くの商店が軒を連ね、大いに賑わいました。

シリーズ
わさとの郷
その二十五
ふるさと湊
絵屏風
ふるさと湊
絵屏風